

# 第14回 介護と医療の座談会

## 癌末期の方の看取りを考える

～ステーション事例をもとに～



6月22日（月）

オンライン開催（Zoom）でお届けしました



10事業所が参加！画面越しの意見交換

座談会に参加してくださった皆さま、ありがとうございました。今回は「癌末期の方の看取り」をテーマに、オンラインでの開催となりました。当ステーション看護師 當銘より在宅看取りの事例をもとにお話しし、その後ケアマネジャー・介護士・看護師など10事業所の皆さまと、画面を通じて活発な意見交換を行いました。初めて参加してくださった事業所も多く、現場で感じている悩みや工夫をやわらかな雰囲気の中で共有できる座談会となりました。



癌末期はポータブルトイレの使用期間が短い…どう対応すべき？



急なADL低下時、福祉用具や体制を素早く整える工夫は？



ケアマネさんと共有してほしい癌末期患者の具体的情報とは？



### 自宅での看取りのメリット

- 住み慣れた空間での安心感
- 家族やペットと過ごせる時間
- 心行くまで時間を共有できる充実感
- 後悔や罪悪感を軽減しやすい



### 現場からの声

- 「ポータブルトイレの購入タイミングが難しい」
- 「申請から暫定プランで早めに福祉用具を調整」
- 「水分を少なくする方が苦痛を和らげると再確認」

「癌末期の看取り」はケアマネとしても介入期間が短く、看護との連携機会が少ないテーマです。オンライン開催ながら、多くの事業所に初めてご参加いただき、発言しやすい雰囲気の中でケアマネ同士の情報共有もできました。

今後も発表時間を調整しながら、意見交換の時間を大切にしていきたいと思っております。

発表者 看護師 當銘ゆかり



しあわせ生活

北坂戸訪問看護リハビリステーション



049-282-8850